

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・アイオワ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	実際に渡航しての留学（現地でのオンライン授業を含む）				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できた
学習成果	留学 1 年未満という長さは、英語をネイティブ並みに話せるようになるには短すぎる期間です。まだ日本語での会話に比べて英語で会話をするときの方が脳のエネルギーを使います。しかし、わからないことがあった時など、反射的に英語で質問、発言することが増えたと感じました。また様々なコミュニティに参加したり、人々と交流を持ち、人々の多様性を体感する中で、「文化」は一種のパーソナリティにもなりえると気づきました。「文化」の定義そのものが日本とアメリカでは違い、またそれぞれ一人一人が持っている文化、パーソナリティを「違って当たり前」とする価値感に感銘を受けました。その気づきが私の中での留学の大きな成果と言えると思います。
目標達成度	おそらく達成できた（スコア/成績未入手の場合など）
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	とにかく日本人のいないコミュニティになるべく参加するようにしていました。またリスニングの強化では、ただ聞くだけでなく、興味のある分野のコンテンツを利用したり、リスニングの「正確性」を養うために後に字幕やスクリプトで、聞いた内容を確認することを欠かしませんでした。中間報告での学習目標は TOEIC オンライン試験で 800 点でした。その目標には届きませんでしたが、TOEIC を攻略する方法を勉強する必要があるという改善点は見つけたので、今後は 800 点突破に向けて努力したいと考えております。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	中間報告前は大学が夏休み期間中だったため、キャンパス内には、ほとんど学生だけでなく街中に人がいない状態でした。そのため、孤独感から精神的に体調が優れないことも多かったです。留学には授業時間外の時間も学びの場となりますので、何もできなかった前期は非常に苦しい時間でした。そのため「やや満足」とさせて頂きましたが、後期からは大学が本格的に始まり、私の思い描いていた生活を送ることができました。
中間報告からの変化	後期からは大学も本格的には始まり、別の場所であるかのように生活が激変しました。人に囲まれ、友人もたくさんできました。後期からは大変忙しい日々を送っておりました。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	前期も後期も語学となったため、様々なコミュニティに参加したり、大学の先生と連絡を取り、学部の授業を見学させてもらうなど、授業時間外の時間を充実させるよう努力しました。期間がもう少し長ければ、もっと仲良くなれたはずの友人がたくさんおり、その点が少し残念です。

オンライン留学（日本に滞在し、海外の授業をオンラインで受けた学生のみ回答）

オンライン留学全般の満足度 （1 不満～5 大変満足）	
現地学生との交流や文化面での刺激の有無	
教科書購入の必要/金額	
渡航困難な状況下において、オンライン留学をする意義はあると感じるか	
その理由	
後輩へアドバイス	

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・オックスフォードブルックス大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	実際に渡航しての留学（現地でのオンライン授業を含む）				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できた
学習成果	現地の学生と変わらない内容を受講していたので、ついていくのに必死だったが、そのおかげでリスニングとスピーキング能力、また自分で予習復習して授業に備える力がついた。
目標達成度	おそらく達成できた（スコア/成績未入手の場合など）
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	毎日予習復習を 3～5 時間程度行った。やる気が出ないときは図書館やカフェに行くなど紀文転換をしつつ勉強を続けた。英語を使う機会を増やすために現地の友達と遊んだり、一緒に勉強をしたりした。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	語学 + 学部のコースだったが、最初の語学コースが 6 人しかいない中で日本人が 4 人だった。学部コース受講中では自分から積極的に話しかけたりソサエティに参加しないと現地の友達ができづらかった。寮生活ではフラットメイトによってかなり左右されると感じた。自分が一番大切にしていたかった勉強は、大学のコース内容も面白く、図書館や勉強スペースの環境も整っていたため思い切り打ちこむことができた。
中間報告からの変化	前期の寮と比べて、後期の寮はフラットメイト全員がイギリス人の大学 1 年生で、夜は騒がしく（共用キッチンでパーティーなど）、使った食器もずっと放置するなど、ストレスがたまることがあった。しかし、現地での生活に少し慣れ始めていたので、うるさい時は図書館に行ったり、気分転換に友達と遊んだりして自分でリフレッシュすることができた。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	私はプライベートの生活が整わないとストレスを感じ、外での生活（学校やアルバイトなど）で本来の力を出せなくなってしまう性格なので、寮選びは重要だと感じた。実際に留学に行くと、周りに様々な人がいて、自分が何を優先するべきなのか、何をしたいのかがわからなくなってしまうことがあるため、自分が留学中何を達成したいのか、何を最優先で取り組みたいのか、留学後どうなっていたいのか留学前にしっかり考えて、迷ったときに原点に返れるように準備しておくことが大切だと思った。

オンライン留学（日本に滞在し、海外の授業をオンラインで受けた学生のみ回答）

オンライン留学全般の満足度（1 不満～5 大変満足）	
現地学生との交流や文化面での刺激の有無	
教科書購入の必要/金額	
渡航困難な状況下において、オンライン留学をする意義はあると感じるか	
その理由	
後輩へアドバイス	

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・セネカカレッジ				
留学制度	TESSIV	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	実際に渡航しての留学（現地でのオンライン授業を含む）				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できた
学習成果	日本語を念頭に置くことがなくなり、自然と英語脳で 4 技能を育むことが出来た。
目標達成度	達成できた
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	英語脳のキープ

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	後悔がないため。
中間報告からの変化	円安が気にならなくなった。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	取捨選択をすることが多かったが、慎重に行ったことで、後悔することがなかった。

オンライン留学（日本に滞在し、海外の授業をオンラインで受けた学生のみ回答）

オンライン留学全般の満足度（1 不満～5 大変満足）	
現地学生との交流や文化面での刺激の有無	
教科書購入の必要/金額	
渡航困難な状況下において、オンライン留学をする意義はあると感じるか	
その理由	
後輩へアドバイス	

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	フランス・トゥールーズカトリック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	フランス語
留学形態	実際に渡航しての留学（現地でのオンライン授業を含む）				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できた
学習成果	リスニング、スピーキング力が伸びたと感じる
目標達成度	おそらく達成できた（スコア/成績未入手の場合など）
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	知らない単語を見かけたら調べ、それで単語帳を作った。積極的に話すように心がけた。仲のいい人には間違えたら指摘してもらうようにした。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	街が素敵で人も優しい人ばかりだった。
中間報告からの変化	大きな変化はないが、強いて言うならリスニングができるようになってコミュニケーションがスムーズになったことと、バスやメトロなどで自分の周りにいる人が何の話をしているかわかるようになって面白かったこと。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	ICT ではなかなか現地の学生と交流することがむずかしいため、ジョンジョレス大学にいた留学生に現地学生と交流できる場を教えてもらって友達を作ったが、上手に話せなくても最初からもっと積極的に話せばよかったと思った。

オンライン留学（日本に滞在し、海外の授業をオンラインで受けた学生のみ回答）

オンライン留学全般の満足度（1 不満～5 大変満足）	
現地学生との交流や文化面での刺激の有無	
教科書購入の必要/金額	
渡航困難な状況下において、オンライン留学をする意義はあると感じるか	
その理由	
後輩へアドバイス	

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	中国・北京外国語大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	中国語
留学形態	オンライン留学（日本滞在）のみ				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できた
学習成果	スピーキング能力が中間報告以降伸びたと感じる。
目標達成度	達成できた
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	学習目標達成のために、予習復習だけでなく weibo や bilibili といった SNS 機能を使い日常的に中国語に触れる機会を増やすことを心掛けた。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	時差がありクラスメートと授業外で話す機会がなかった。
中間報告からの変化	移動時間などがなかったため、その分を勉強に充てることができた。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	少しでも現地にいる雰囲気味わうために、SNS を使って北京の流行や習慣を積極的に調べた。

オンライン留学（日本に滞在し、海外の授業をオンラインで受けた学生のみ回答）

オンライン留学全般の満足度（1 不満～5 大変満足）	4
現地学生との交流や文化面での刺激の有無	少しあった
教科書購入の必要/金額	なし
渡航困難な状況下において、オンライン留学をする意義はありとを感じるか	オンライン留学をして良かったと感じる
その理由	オンライン留学をする前は、やはり現地に行きこそ留学の意義があると感じていたが、オンライン留学でもしっかりと勉強をすれば成果は現れることを身を通して体感することができた。移動時間がないことはオンライン留学の大きなメリットの一つだと思う。
後輩へアドバイス	Wi-Fi の環境は早めに整えておくことが重要。